

令和3年度 第2回学校運営協議会 記録

◇開催日時	令和3年12月10日(金) 10:35～12:15
◇開催場所	御船町立高木小学校 図書室
◇出席者	
(委員)	会長 副会長 老人会代表 高木体協 元学校評議員 地域協働活動推進員 PTA会長 母親部長
(学校)	福田校長 佐藤教頭 山田(教務主任)(記録)

1 開会

2 校長あいさつ

- 今年度は、感染予防に配慮しながら、ほぼ予定通り行事を進めることができた。
- 学校説明の中で、学力について伝えるが、守秘義務をお願いしたい。
- 学校運営協議会の委員の方々には、日頃からお世話になっている。なかなか機会がないが、学校をよりよい方向へ導いてくださる立場として、機会があれば「来賓側」ではなく、「職員側」に席を設けたいと考えている。
- 今回、教職員の任用に関して意見を出していただく機会を設けている。どんな子どもを育てたいのか、こんな力をもった職員にきてほしい、という意見をいただきたい。それを町教育委員会をへて、県教育委員会の方へ伝えたい。

3 学校説明

- 今年度の取組について(教頭)・・・資料参照

4 教職員の任用に関する意見について(記録非公開)

- (1) 校長より説明
- (2) 高木小学校で育てたい児童についての熟議・決定
- (3) 教職員の任用についての熟議・決定

5 協議・意見交換

<委員>

- 授業を行っていて、児童数が増えると大変だと思われる。児童の中にロシアの子がいるが、高木あるいは御船町内で今後交流はできないか。

<福田校長>

- 子どもたちは日本語で会話している。父親が社交的で、「高木小に来てよかった」とおっしゃっているので、今後の働きかけにより可能性はあると思う。

<委員>

- 6年は人数が少なく教えやすかった。現在、習字を4年生のみ教えているが、人数が多いため指導がなかなか行き届かない。学校では、習字の基本であるマナーの徹底が難しい。指導者の人数がもう少し必要だと思った。

<議長>

- 部外講師の募り方はどうなっているのか。

<福田校長>

- 学校運営協議会の方で必要な人数等に声をかけていただいて、例えば、ミシンの使い方だったらこういうメンバーというように、形を作っていけたらと思う。今年はコロナ禍のため中止することが多かったが、コロナが落ち着いたら地域協働活動の方で取り組んでいってはどうか。次年度の課題である。

<委員>

- あいさつとメディアの長時間利用については、PTAが主体となって呼びかけていく必要がある。本来、各家庭でしつけていくべきものを、先生たちの指導に甘えている。次年度は、PTAで取り組んでいければと思う。

<議長>

- PTAで掟のようなものを決めて取り組んではどうか。

<委員>

○各家庭のやり方もあるので、雰囲気作りからやっていきたい。

<委員>

○朝の登校中、車を止めて道を渡らせたことがあったが、子どもたちはきちんと振り返ってあいさつをしてくれた。とてもうれしい出来事だった。それを全児童にさせるのは難しいが、そうなればと思う。

<委員>

○読み聞かせにあたっては、全員のメンバーを集めるのに苦労している。何度も同じ方がしているという実態があり、負担を減らすにはどうすればよいか苦心している。

<議長>

○お母さんだけでなく、おじいちゃん、おばあちゃんにも声をかければいいのではないか。

<委員>

○時間がある自分たちに声をかけてもらえればよい。世の中のためになることをしたい方がたくさんいるので、声をかけていきたい。

<委員>

○ゲートボール後、こっちからしないとあいさつをしない子もいる。徹底はできていないので、粘り強く声をかけていきたい。向こうがしないからしないのではなく、こちらから声をかけるようにしていきたい。

<委員>

○グランドゴルフ後は、きちんと掃除をするようにしている。ただ利用するのではなく、その後の気持ちが大事である。

<委員>

○公民館活動は、コロナのためにほとんどできていない。来年度もコロナ次第である。そんな中、学校行事がたくさん戻ってきてよかったと思っている。来年度の見通しと、5年生にオンラインゲームが多いのが気になった。

<福田校長>

○子どもたちはいきいきとしており、先生たちも笑顔であり、いい学校になってきている。自分がある程度目指したところに近づいてきたと思う。ただ、コロナのために機能していない部分がある。今後、続いていくようなシステム・メンバーを作っていくのが必要である。例えば、「ふれあい交流会」についてはこの2年間できていない。習字、ミシン、調理など、外部の方にもこれから入っていただけるようになればと思う。

○5年生同士で家でやっている通信ゲームが、トラブルの原因になることがあった。

<議長>

○ホームページのアクセス数がかなり増えている。子どもたちが何時に下校するかの情報もよく分かり助かっている。

○声かけ事案が多く、もはやどこであってもおかしくない状況にある。

<福田校長>

○昨日も声かけ事案があり、追いかけられた女子児童が何とか逃げ切っている。教育委員会にも報告し、注意喚起を促したい。